



新たな支援 大町町で始動!

移動型無人コミュニティフリッジ「FOOBOUR (フーバー)」始動

(一社)ピースポート災害支援センターが、コミュニティフリッジ(公共冷蔵庫)として役割を担っているフードトラック「FOOBOUR (フーバー)」を活用した支援事業を開始しました。

この事業は、大町町と包括連携協定にもとづいて取り組むもので、ひとり親家庭世帯が人目を気にすることなく、24時間365日都合の良いときに美郷に配備している「FOOBOUR (フーバー)」で食料品や日用品を無償で取りに行くことができます。

また、災害時は被災地に移動して被災者を支援します。

8/28
WED



豪雨時の浸水軽減に期待

下瀉排水機場増設ポンプ運転開始式

下瀉排水機場の排水ポンプ増設が完了し、運転開始式が行われました。

開始式には山口佐賀県知事をはじめ、関係者含め28名が出席。水川一哉町長は「人の暮らしと六角川が共存できるように治水対策をしっかりと進めていきたい」と述べました。

今回増設されたポンプ2台は、毎秒3トンの排水能力を持ち、既存のポンプ2台の毎秒7.5トンを合わせると、4台合計毎秒10.5トンとなり、これは25メートルプールを30秒で空にできる能力になります。

8/28
WED



バスケットボールでスポーツの楽しさ学ぶ

大町保育園で佐賀バルナーズ巡回スクール開催

大町保育園で、佐賀バルナーズによる「バスケットボール巡回スクール」が行われました。これはB1で活躍する佐賀バルナーズの選手やコーチが、県内の子どもたちを対象に体の動かし方やスポーツの楽しさを教える事業です。

最初は緊張していた「きく組(年長)」の子どもたちも、コーチから体の動かし方やボールの使い方を教わっていくうちに、自然と笑顔になり、笑い声も多く、最後まで楽しく過ごしました。

8/28
WED

